



京都市社会教育委員のコラム

まなびのつぼ

第4回



齊藤 修 委員
プロフィール

京都府出身。立命館大学卒業後、京都新聞社に入社。論説・編集主幹を経て主筆、編集本部長として言論・報道部門を統括。平成20年京都新聞社代表取締役社長、22年から同社相談役。

現場に立つこと

近ごろは、だれもがうつむき加減です。視線の先にはケータイやスマートフォンの小さな画面が光っています。いつでもどこからでも、指先ひとつで世界中の情報とつながり、知人と交信できる、なんとも便利な時代になりました。

そんな時代でも、いやそんな時代だからこそ余計に、新聞記者は現場に足を運ぶことにこだわります。

たとえば、千年に一度といわれた東日本大震災の現状を知りたい。

記者は、大津波で根こそぎにされた被災地に立って、五感を研ぎ澄ませてみます。遠くでキラキラ光る波濤。唸る起重機。荒れ地を

京都市社会教育委員

齊藤 修 氏 (京都新聞社相談役)

吹き抜ける風の音。家をもぎ取られたコンクリート土台のざらつく手触り。傍らで無神経と思えるほどに伸びた雑草の乾いたにおい…。

掌の小さな画面からは届くことのない情報がなんとたくさんあることでしょうか。

科学技術の進歩は、利便性と効率性の面で計り知れない恩恵をもたらしてくれます。が、一方で、私たちが大切にすべき何かを置き去りにする危うさを持っているのではないのでしょうか。

かつて「書を捨てよ 町へ出よう」という本が話題になりました。たまには小さな画面を消して感性を磨きに出かけようではありませんか。

委員からのメッセージ

東日本大震災は、戦後日本の列方を根底から問い直す出来事だ。未来に可能性を秘めた若い世代のために、この問いに真摯に立ち向かい続けたいと思います。

おすすめ情報

博物館で“まなび”を見つけよう

好評発売中

「京都ミュージアム探訪」

京博連（京都市内博物館施設連絡協議会）創立20周年記念として、「京都ミュージアム探訪」（「京都市内博物館ガイドブック 京のかるちゃーすぽっと」の全面改訂版）が3月に発刊されました。日本語版と英語版の2種類を発行しています。

京博連加盟館の施設情報、地図、見どころなどを写真入りで紹介した1館1ページ、総カラー240ページのA5変形サイズのガイドブックです。



日本語版：定価 1,200円 (税込)
英語版：定価 1,500円 (税込)

京都をはじめ、全国の書店で発売中です。
ぜひお近くの書店でお求めください！

京都市野外活動施設

「花背山の家」は、おかげさまで開所20周年！



平成5年の開所以来、多くの市民の皆様にご利用いただいている花背山の家。

開所20周年を記念して、一般の方向けの星空観察や花背ウォーキング、家族のための事業「花背で遊ぼう」など、イベントが目白押しです。

学校利用がない日は、御家族や成人のグループも利用いただけます。

完全予約制 電話：746-0717

美しい自然の中で、絆を深める野外活動やレクリエーション活動をしませんか。

イベント日程などは「花背山の家」のホームページを御覧ください。



編集後記

新年度に入って約2か月。そろそろ何か新しく始めたいな、とお考えの方に役立つ情報を集めてみました。

おすすめの施設は「京まなびネット」

施設情報にもたくさん載っていますよ！



発行：京都市教育委員会
生涯学習部 生涯学習推進担当
TEL:075-251-0410
FAX:075-213-4650



子どもたちの今と未来のため、社会のあらゆる場で
「子どもを共に育む京都市民憲章」を実践しましょう！

